

作成日: 2013/05/30

改訂日: 2022/05/12

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称 NC ショット L 専用混和液
供給者の会社名称 二瀬窯業株式会社
住所 〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669
担当部署 本社技術課
電話番号 0948-22-0447

【2. 危険有害性の要約】

化学品のGHS分類 分類区分に該当しない、もしくは分類できない

GHS ラベル要素

絵表示 該当なし
注意喚起語 該当なし
危険有害性情報 該当なし
注意書き
安全対策 情報なし
応急措置 情報なし
保管 よく蓋をし、直射日光を避け、通風の良い場所で5~30°Cで保管する。
廃棄 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
アクリル共重合体	20 - 21%	非公開	非公開	非公開	非公開
変性ポリビニルアルコール	1.5-2.5%	非公開	既存	公表	非公開
水	残分	H2O	—	—	7732-18-5

【4. 応急措置】

吸入した場合 気分が悪いときは医師に連絡すること。
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 直ちに多量の水又は石鹼水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

【5. 火災時の措置】

消火剤	水、泡、、粉末、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	情報なし
特有の消火方法	延焼の恐れのないように水スプレーで周辺を冷却する。 燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消化する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業は風上から行い、状況によっては呼吸器具を着用する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど)を着用する。 周辺を立ち入る禁止にして関係者以外を知被けないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項	製品や洗浄水が直接河川や下水等公共水路に流れ込むのを防止する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	流路を毛布・土嚢等を用いて堰き止め、大量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、又少量流出の場合はおが屑・土砂・パーライト等を混ぜて回収する。
二次災害防止策	河川・湖沼への流入の場合は、警察署・消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る。

【7. 取扱いおよび保管上の注意】

取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	スプレーミストの発生する作業の場合はフィルター付きの保護マスクを着用する。 換気の良い場所で取り扱う。
安全取扱注意事項	眼・皮膚への接触を防止するため、保護眼鏡・保護手袋などの保護具を着用する。 取扱い後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり目に入らぬよう保護具を着用する。
接触回避	吸湿性物質、高温体との接触を避ける。
衛生対策	取扱い後は、顔、手、口等を水洗いする。
保管	
安全な保管条件	よく蓋をし、直射日光を避け、通風の良い場所で5~30℃で保管する。
安全な容器包装材料	発錆しない材料を使用し、鉄製の容器を使用しない。

【8. ばく露防止及び保護措置】

設備対策	局所排気装置を使用する。 取扱場所の近くにシャワー・手洗い・洗眼設備等を設けその位置を表示する。
保護具	
呼吸用保護具	フィルター付きの保護マスクを着用する。
手の保護具	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材料の手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具	取り扱う場合には皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学品が浸透しない材質であることが望ましい。 静電気発生を防止するために通電靴を着用する。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理状態	液体
色	乳白色
臭い	微アクリル臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界 ／可燃限界	下限 データなし 上限 データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	4 以上 6 以下
動粘性率	データなし
溶解度	水と任意に混和
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし。 水 2310 Pa 20°C[1]
密度及び／又は相対密度	1.0 以上 1.1 以下
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

【10. 安定性及び反応性】

反応性	特記すべき反応性なし
化学的安定性	常温常圧で安定
危険有害反応可能性	特記すべき反応性なし
避けるべき条件	特記すべき条件なし
混触危険物質	水と反応する物質との混合・接触を避ける。
危険有害な分解生成物	燃焼により CO、NO _x 等の有毒ガスを発生する恐れがある。

【11. 有害性情報】

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性／皮膚刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性	情報なし
皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	(生殖毒性) 情報なし (生殖毒性・授乳影響) 情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

【12. 環境影響情報】

水生環境有害性 短期(急性)	情報なし
水生環境有害性 長期(慢性)	情報なし
生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	モントリオール議定書で列記された成分の含有情報なし

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物	容器、機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さないこと。 廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律に従って処理を行うか委託すること。
汚染用器及び包装	空容器は内容物を完全に除去してから処分する。 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

【14. 輸送上の注意】

国際規制	国連番号	非該当
	品名	非該当
	国連分類	分類に該当しない。
国内規制		
陸上規制		法の基準に従い積載・輸送する。
海上規制情報		法の基準に従い積載・輸送する。
航空規制情報		法の基準に従い積載・輸送する。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		保護具、消化器を携帯する。 容器に漏れの無いことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実にこなう。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法	
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
消防法	非該当

【16. その他の情報】

引用文献

[1] CRC: CRC Handbook of Chemistry and Physics, 84th

本安全データシートは、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、弊社は安全データシート記載事項について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではなく、本データシートに記されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。